



報道発表資料の配付日時 3月10日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	北海道アライグマ捕獲プログラムについて		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ この度、市町村におけるアライグマの効果的・効率的な捕獲を支援するため、「北海道アライグマ捕獲プログラム」を作成しました。</p> <p>○ 市町村自らが現状を把握し、それらを踏まえて何をすべきか方向性を定めるためのツール(捕獲対策のマニュアル)として、各市町村等に配付し、活用を促していきます。</p> <p>○ これまで、様々な捕獲技術に関するマニュアルが提供されてきましたが、本プログラムは捕獲技術だけでなく、生息数や捕獲目標の算出、捕獲体制や捕獲サイクルの流れなど、アライグマ捕獲対策を総合的に解説したマニュアルです。</p> <p>&lt;プログラムの概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第1章 捕獲の進め方 地域の捕獲体制の構築とプログラムに基づく捕獲サイクルを解説</li> <li>■ 第2章 捕獲の実践 捕獲技術や最新技術の情報を紹介する捕獲技術マニュアル</li> <li>■ 第3章 現状把握と目標設定の方法 統計資料と科学的データを用いた実践的な方法を解説</li> <li>■ 第4章 これまでの取組から学ぶ改善方法 先進事例等を基にした捕獲の実行力アップのためのQ&amp;A</li> </ul> <p>&lt;配付資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道アライグマ捕獲プログラムの概要</li> </ul>		
参考	<p>北海道アライグマ捕獲プログラムの全文は、野生動物対策課ホームページから御覧いただけます。</p> <p>【野生動物対策課 アライグマ対策のページ】</p> <p><a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/alien/araiguma/araiguma_top.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/alien/araiguma/araiguma_top.html</a></p>		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	<p>環境生活部 自然環境局 野生動物対策課 (担当者: 課長補佐 車田)</p> <p>TEL (ダイヤルイン) 011-204-5205 内線 24-384</p>		

# 北海道アライグマ捕獲プログラムの概要

令和5年3月 北海道環境生活部野生動物対策課

## 背景

- ほぼ全道が分布域：目撃市町村数 H7年度 24市町村 → R4年3月 164市町村
- 農業被害額増加：H24年度 84百万円 → R3年度 149百万円
- 市町村意見・地域における生息数や農業被害を減らすための捕獲目標数がわからない
  - ・ 従事者不足、市町村職員の手が回らない、わなの設置方法がわからない

## 目的

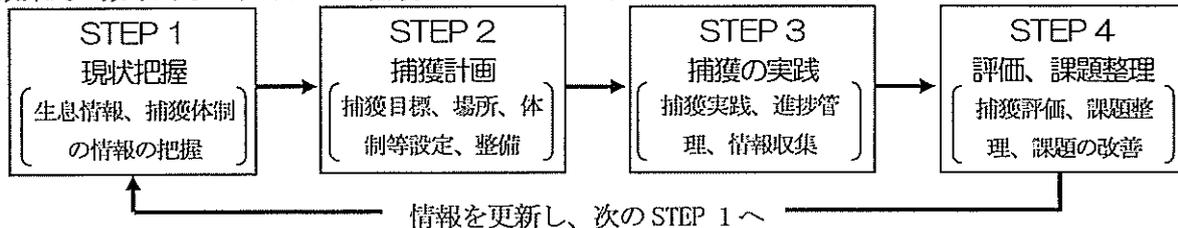
アライグマの本道からの排除を目指し、市町村などによる明確な目標の下での効果的・効率的な捕獲を支援  
→ 市町村自らが現状を把握し、それらを踏まえて何をすべきかという方向性を定めるためのツール  
(捕獲対策のマニュアル)

## 概要

### 第1章 捕獲の進め方 <地域の体制構築とプログラムに基づく捕獲サイクルを解説>

#### 1 捕獲の流れ

効果的・効率的なアライグマの捕獲を進めるために、4つのステップを繰り返し実行



#### 2 捕獲カレンダー

- アライグマの生活史を踏まえた捕獲の実践、春期捕獲の重要性
- 捕獲プログラムに基づく、アライグマ対策の1年間のカレンダー

#### 3 捕獲に必要な体制

- アライグマ対策の体制：農家、集落、市町村、道など関係者、機関の基本的な役割
- 情報共有に必要な体制：関係者が情報を共有できる体制づくり

### 第2章 捕獲の実践 <捕獲技術や最新技術の情報を紹介する捕獲技術マニュアル>

- 捕獲エリアの選定、わなの設置場所の選定の方法
- わなの設置手順、見回りと記録の方法
- 捕獲個体の記録と処分、安楽殺処分の方法

### 第3章 現状把握と目標設定の方法 <統計資料と科学的データを用いた実践的な方法を解説>

#### 1 現状把握の方法

- 市町村単位での捕獲数、農業被害額の把握、生息密度指標の算出などの方法

#### 2 目標設定の方法

- 生息数、個体数増を抑える捕獲目標頭数、目標を達成するための努力量の算出方法

#### 3 捕獲結果の評価の方法

- 取組を評価する指標：生息密度指標、農業被害額

### 第4章 これまでの取組から学ぶ改善方法 <先進事例等を基にした捕獲の実行力アップのためのQ&A>

- 課題を知り、改善方法を各地の先進事例等に学ぶ
  - 深川市、美唄市、沼田町、新十津川町、名寄市、占冠村などの事例紹介
- 対策に必要な4つの要素に関するQ&A
  - 【ヒト】 捕獲体制、捕獲従事者の増、役場の人手不足解消
  - 【モノ】 捕獲機材への支援、生息調査資材、見回り労力軽減策
  - 【カネ】 各種交付金の活用、捕獲奨励金の導入
  - 【情報】 捕獲技術研修、住民周知方法、関係者との情報共有 等